

ナイスボールV使用上のご注意

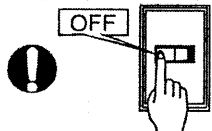
- ラジオなどの音響機器の近くで点灯しますと雑音が入ることがあります。また、赤外線リモコンを採用したテレビなどの近くで点灯しますとリモコンが誤動作することがあります。(雑音が入ったり誤動作が生じるときは、ランプから1m以上離して使用してください。)
- 点滅を頻繁に繰り返しますと、ランプ短寿命の原因となりますのでご注意ください。
- 気温が低い場合には、ランプの特性上100%の明るさになるまで数分かかる場合があります。

保守とお手入れ

常に明るくご使用いただくために定期的にお手入れをしてください。

■お手入れの際や、ランプの交換の際は、必ず電源を切ってください。

*感電の原因となります。



■器具のお手入れ

●汚れが目立ちはじめましたら、きれいな布に石けん水を浸してよく絞ったのちふき取ってください。化学ぞうきんを使用する場合はその注意書に従ってください。

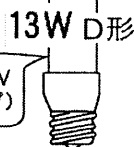
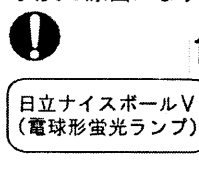
●みがき粉やベンジンなどでふいたり、熱湯や殺虫剤をかけないでください。

*傷、変色の原因となります。



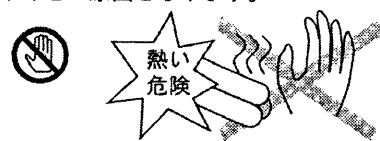
■必ず指定のランプをご使用ください。

*指定以外のランプを使用しますと、器具が過熱し火災の原因になります。



■器具の点灯時および消灯直後は、ランプが非常に熱くなっておりますので触らないでください。

*やけどの原因となります。



仕様

器具	仕様	定格電圧	消費電力	適合ランプ
13W・1灯	交流100V	12W	日立ナイスボールV 13W EFD15EN／13(口金:E26)	

アフターサービス

- もし器具に異常が生じた場合は、直ちに電源を切り、お買い上げの販売店に、器具の形式(器具銘板に表示してあります。)故障状況を連絡のうえ、修理を依頼してください。

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
サービスを依頼されるときにお役にたちます。

購入店名

電話

ご購入年月日

年 月 日

◎日立ライティング株式会社

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5-2

電話(03)3255-5256

HITACHI

日立蛍光灯器具

取扱説明書

保管用

ポーチライト

ナイスボールV (13W・1灯) [防雨形]

このたびは日立蛍光灯器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。
- 本文中の「図記号」の意味は次の通りです。

「禁止」を表します。

「必ずしてほしい行為」を表します。

「接触禁止」を表します。

「必ずアース線を接続せよ」を表します。

安全上のご注意

警告

- この器具は壁面取り付け専用です。このような取り付けはしないでください。

防水性能が保てなくなり、火災・感電の原因となります。



- 器具の取り付け工事は、電気工事店(有資格者)に依頼してください。
*しろうと工事は危険です。また、法律で禁じられています。
- アース工事は、電気設備技術基準のD種接地工事に従って作業してください。
*アースが不完全な場合は、感電の原因となります。
- 器具の改造、構成部品(ソケットなど)の交換はしないでください。
*火災・感電・故障の原因となります。
- 器具のすきまに金属類(ヘアピン・針金など)を差し込まないでください。
*感電・故障の原因となります。
- 器具に布や紙・ポリ袋などをかけないでください。
*過熱し、火災の原因となります。

注意

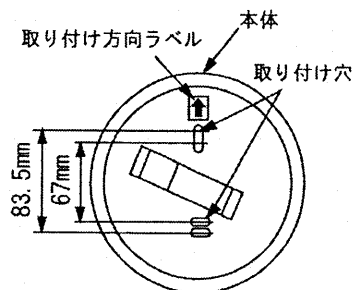
- 定格電圧 交流100V以外で使用しないでください。
*過熱し、火災の原因となります。
- お手入れの際や、ランプの交換の際は、必ず電源を切ってください。
*感電の原因となります。
- 点灯時および消灯直後は、ランプが熱くなっておりますので触らないでください。
*やけどの原因となります。
- 必ず指定のランプをご使用ください。
*過熱し、火災の原因となります。
- 調光器(当社商品名ライトロール)と併用しないでください。
*過熱し、火災の原因となります。
- 常時温度の高い場所(35℃以上)では使用しないでください。
*絶縁性能が低下し、火災・感電の原因となります。

器具を取り付ける前に

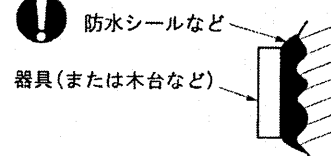
- 器具は、取り付け穴を使用して、付属の木ねじ2本で補強材のある所に取り付けてください。



この器具は壁面取り付け専用で、取り付け方向があります。必ず取り付け方向ラベルに従い取り付けてください。



- 取り付け面に凸凹がある場合は防水性能を保つため、防水シールなどで器具（または木台など）と取り付け面とのすき間を埋めてください。

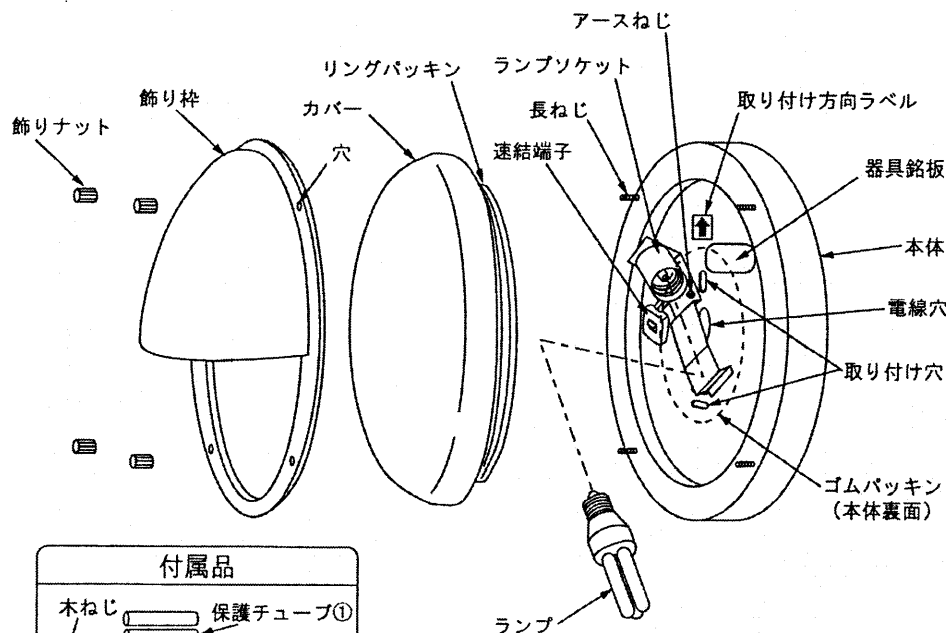


各部の名称

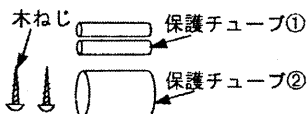
図は取り扱いを説明するため、一部省略抽象化した共通図です。

- 下図を参照して、各部品をお確かめください。

*取り付け前の準備として、飾りナット（4か所）を左に回してはずしたのち、飾り枠を取りはずします。次に、カバーを左に回して取りはずしてください。

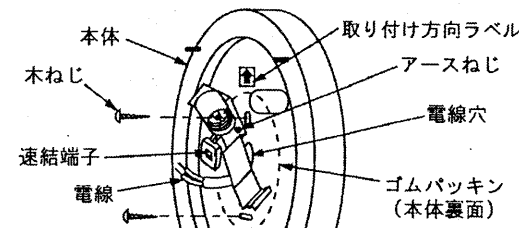


付属品

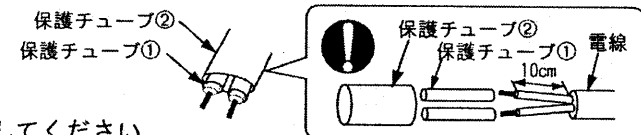


器具の取り付けかた

- (1) 本体裏面のゴムバックシンから電線穴に電線を通し取り付け方向ラベルに従い方向を決めたのち、付属の木ねじ2本で本体を取り付けてください。



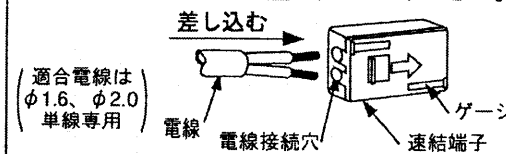
- (2) 必ず保護チューブ①、②を右図のようにかぶせてください。



- (3) 電線を速結端子に接続してください。

接続のしかた

- 電線をゲージに合わせて段むきし、電線接続穴にしっかりと差し込んでください。



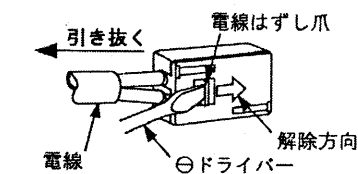
- アース線をアースねじに接続してください。



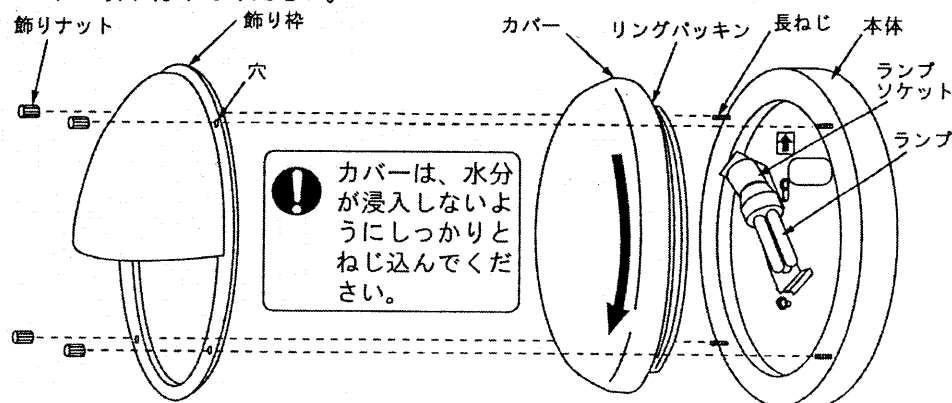
アースは、必ずお取りください。

解除のしかた

- Θ ドライバーで電線はずし爪を解除方向に強く押し当て、電線を引き抜いてください。



- (4) ランプソケットにランプがしっかり付いているか確認し点灯確認してください。
- (5) カバーにリングバックシンが取り付けられているのを確認し、本体にかぶせて右に回してしっかりとねじ込んで取り付けてください。
- (6) 本体の長ねじに飾り枠の穴を通し、飾りナット（4か所）を右に回してしっかりと取り付けてください。



カバースは、水分が浸入しないようにしっかりとねじ込んでください。